

令和7年度 2学期始業式式辞

長い夏休みが終わり、今日から2学期が始まりますが、皆さんの元気な姿がそろっていることを嬉しく思います。

この夏、本校初となる、大きな喜びが2つありました。

1つは、本校初の海外研修が実現したことです。

10日間のオーストラリア語学研修に23名の生徒が参加しました。異なる生活環境、また、言葉の壁に不安なこともたくさんあったと思いますが、果敢に挑戦してくれました。

この貴重な経験を、今後のキャリア形成につなげてほしいと思っています。

2つ目に、全国高等学校総合体育大会、いわゆるインターハイウェイトリフティング競技で本校3年生の山縣七々海選手が優勝を果たしました。

これは本校創立以来初となる、インターハイチャンピオンの誕生です。

全国の舞台で頂点に立つということは、想像を超える努力と精神力が必要です。日々の厳しい練習に耐え、技術と体力を磨き、挑み続けた結果が、この勝利へとつながりました。

特に印象的だったのは、優勝の瞬間、沸き立つ歓声の中で、派手な喜びを表すことなく静かに次の挑戦へと歩みを進める。その姿に真の強さと品格を見たように思います。本当におめでとうございます。

2学期も、各種行事や大会、3年生にとっては入試も始まり、皆さんが力を試す機会にあふれています。

成功も失敗もありますが、大事なのはあきらめず挑戦し続けることです。それぞれが自分なりのペースで歩み続ければ、必ず大きな力へと変わると信じています。

新しい学期のスタートにあたり、皆さんの益々の活躍を期待し、式辞いたします。